

同 一金壹圓五拾錢也 會合雜費
同 一金壹圓六拾錢也 創立費調達員 名車賃

計金壹百拾壹圓參拾五錢也
總計金貳百〇貳圓拾四錢也

以上大正九年十二月三日以來十年二月二十日ニ至ル總額

右之通り相違無之候也

副委員長 龜井 司

創立實行委員殿

相談會御案内

大正十年三月三日午後六時開會

日本海員組合創立事務所(假事務所)

日本海員組合本部事務所所確定其の他諸般の件に付御相談申上度儀有之候處御多忙申甚だ御迷惑には候へ共萬障御繰合せ定刻迄に是非御出席相成度此段御案内申上候也

大正十年三月三日

創立副委員長 龜井 司

田口源 記殿 醍醐資 祐殿

堤良 明殿 山下 鷹次郎殿

松元德 三殿 福森 庄太郎殿

三和國 章殿 宮崎 勝之殿

溝口 傳殿 木村 松二殿

大正十年三月八日

日本海員組合創立事務所

濱田國太郎殿
堀内長榮殿

拜啓

時下春氣日に増し來り候處御地實行委員諸君には益々御清榮にて組合創立に關し御奮闘之程本謝候陳ば神戸關に於ても各員熱心に實行の歩を進め居候處不幸にして組合長檜崎氏先般御上京中風邪に罹られ御歸神草々當地旗塚通五丁目衛生病院に入院御加療中に有之候處幸にして昨今殆んど快癒の有様に御座候院長の御注意に依り猶二三週間の安靜保養を要す。趣にて斯ては益々本組合設立遅延するを深く憂慮せられ健康の恢復まで海員協會主事都竹要次郎氏に萬事一任致度旨檜崎氏より海員協會都竹氏を通じての御傳言有之候に付御地委員に至急下神を求め、竹氏と御協議の上實行の歩を進め遅くも四